



MAGAZINE HOUSE MOOK extra issue
カーサ ブルータス特別編集

[完全保存版] 身も心も癒やされる
アジア112軒、日本65軒のリゾートガイド

アジアのリゾート、 日本の宿

ASIAN DESTINATIONS



TOWN

あの町この町、日本の各地に
魅力的な宿が生まれています。

古い屋敷や酒蔵を宿泊施設に転用して、その町独自の生活や歴史に
触れることが旅のメインコースとなるような宿が
いま全国に生まれています。そんな「町の宿」を泊まり歩きました。



上／レセプション機能を持つのはONAE棟。建物
が最も輝いていた時代に戻したという改築はリノ
ベーションというより修復という言葉が似合う。
篠山城下町の町家の特徴である、小屋根の下屋など
建築様式にも注目を。菊にゆかりある篠山らしく、
宿泊棟には菊の名が付けられている。下／町
の中心に残るのは1609年に築城された篠山城跡。

EXTRA ISSUE C33-136

SASAYAMA

400年の歴史を持つ、 城下町全体がホテルに！

古い建物をリノベーションするだけでなく、
城下町全体をホテルに見立てたユニークな試み。
それが〈篠山城下町ホテル NIPPONIA〉だ。

photo_Taro Hirano illustration_Kenji Oguro
text_Mako Yamato editor_Rie Nishikawa

143

篠山 | 兵庫

篠山城下町ホテル NIPPONIA

Sasayama Castle Town
Hotel NIPPONIA
Sasayama, HYOGO

2015年10月オープン。●兵庫県篠山市西町25番地
120・210・289。全5棟12室。1室2名利用で1泊
2食付き21,000円～。5室とレストランのONAE
棟、3室のSAWASIRO棟など全4棟からなる。
京都から車で約60分。電車ではJR大阪駅から篠
山口駅まで約1時間10分。篠山口駅からは送迎あ
り。<http://www.sasayamastay.jp/>

ONAE棟101号室。明治前期に建てられた離れの床
の間、格子、障子戸、襖や欄間がそのまま残る空
間。縁側からは灯籠のある中庭を眺められる。

1 重要伝統的建造物群保存地区の河原町に建つNOZI棟は、明治初期の長屋を改装。母屋と離はれはそれぞれ入口が別となり、プライベート感を高めている。**2** ONAE棟の土間には大八車を引き入れるために敷いた石も残る。**3** 家と共に時を経てきた竈や井戸の姿も。**4** 客室に用意されているのは浴衣で、レストランでは浴衣姿での食事もできる。アニメティークが入った巾着は持ち帰り可能。



5 料理は「テロワール・エ・ナチュール」をテーマに但馬牛や丹波の黒大豆、丹波栗など地元の豊かな食材を使ったフレンチ。「季節の地元野菜のガルグイユ」はディナーコースに必ず入るアミューズ。6 「金目鯛のブレゼ 柑橘類のソース」。宿泊プランによりコース（5～7品）は異なる。7 店から望むONAE棟（10号室）。



晩めし屋 よかちよろ

契約農家の無農薬野菜を中心に丹波ポークや鹿など地元食材を気軽に味わえる。菊芋チップス380円などに〈ジグザグブルフリー〉の地ビール500円を合わせて。●兵庫県篠山市河原町93-2 079-6378-5512。11時30分～16時30分（14時ランチLO、土・日・月・祝のみ）、17時30分～翌1時（22時LO、土・日・月のみ）。火曜～木曜休。



黒豆、丹波焼、食材。丹波の魅力に触れる寄り道も。

小田垣商店

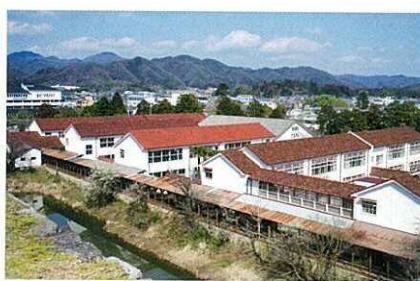
丹波地方に受け継がれる大粒の黒豆・丹波黒を広めてきた黒豆の老舗。手間暇かけて育てられる丹波黒の中でも、収穫の後、職人が手より選別した大玉丹波黒大豆はほかにない上質ぶり。登録有形文化財でもある建物も圧巻。●兵庫県篠山市立町9 079-552-5371。8時30分～17時。年末年始、盆休。



Sasayama Town

岩茶房 丹波ごとり

旧武家屋敷の落ち着いた空間で、武夷山で自然生育する稀少なウーロン茶の岩茶を自家製の点心や菓子と共に。器は店主・小谷咲美さんの父で、作陶家の柴田雅章さんの作品なのも贅沢。スイーツ2種の岩茶セットは1,300円～（税込）。茶葉や器、菓子の販売も。●兵庫県篠山市西新町18 079-5630。11時～18時。水曜・木曜休。



篠山城趾の天守台から眺める篠山小学校は、赤い瓦屋根が印象的な木造建築。内堀と外堀の間に建てられている。

中心となるのは明治期に建てられた元銀行経営者の住居をリノベーションしたONA-E棟。下屋や虫籠窓、高い天井の土間には井戸や竈まで、当時をしのばせる豪奢な意匠が残る。もちろんそれぞれ長い時を経て来た5棟の空間は個性を持ちつつも、どこか懐かしく安らぎをもたらしてくれるもの。最も離れたNOZI棟までも徒歩で20分ほど。歩きながら町の空気につれてることで、町全体に泊まるという感覚を実感する。歴史的建造物を生かす特区だからこそ実現した新たな宿のスタイルだ。

篠 山・豊岡・竹田。各地に残る、長い時を経てきた建築物をリノベーションし、土地に溶け込む宿泊施設をつくり上げるプロジェクト〈ニッポンア〉。築150年の農村の古民家を改装した〈集落丸山〉を皮切りに、建物や街が持つ歴史を生かした宿をつくり上げてきた。そのフラッグシップが城下町全体をホテルに見立てた〈篠山城下町ホテルNIPPONIA〉。

四百有余年の歴史を持つ城下町

・篠山は武家や商家だった古民家

が点在し、歴史の面影を色濃く残す町。代々暮らす人々に混じって、

若い世代が移住し、新たなコミュニティーもできつつある。その町

全体をゆるやかに敷地として捉え、リノベした5棟を使うホテルとして開業した。京都などの1棟貸し町家とは異なり、レセプション機能を1か所にまとめて管理する様式はホテルそのもの。チェックインの後は、広めの敷地を移動して宿泊する棟へ向かうイメージだ。

山・豊岡・竹田。各地に残る、長い時を経てきた建築物をリノベーションし、土地に溶け込む宿泊施設をつくり上げるプロジェクト〈ニッポンア〉。築150年の農村の古民家を改装した〈集落丸山〉を皮切りに、建物や街が持つ歴史を生かした宿をつくり上げてきた。そのフラッグシップが城下町全体をホテルに見立てた〈篠山城下町ホテルNIPPONIA〉。

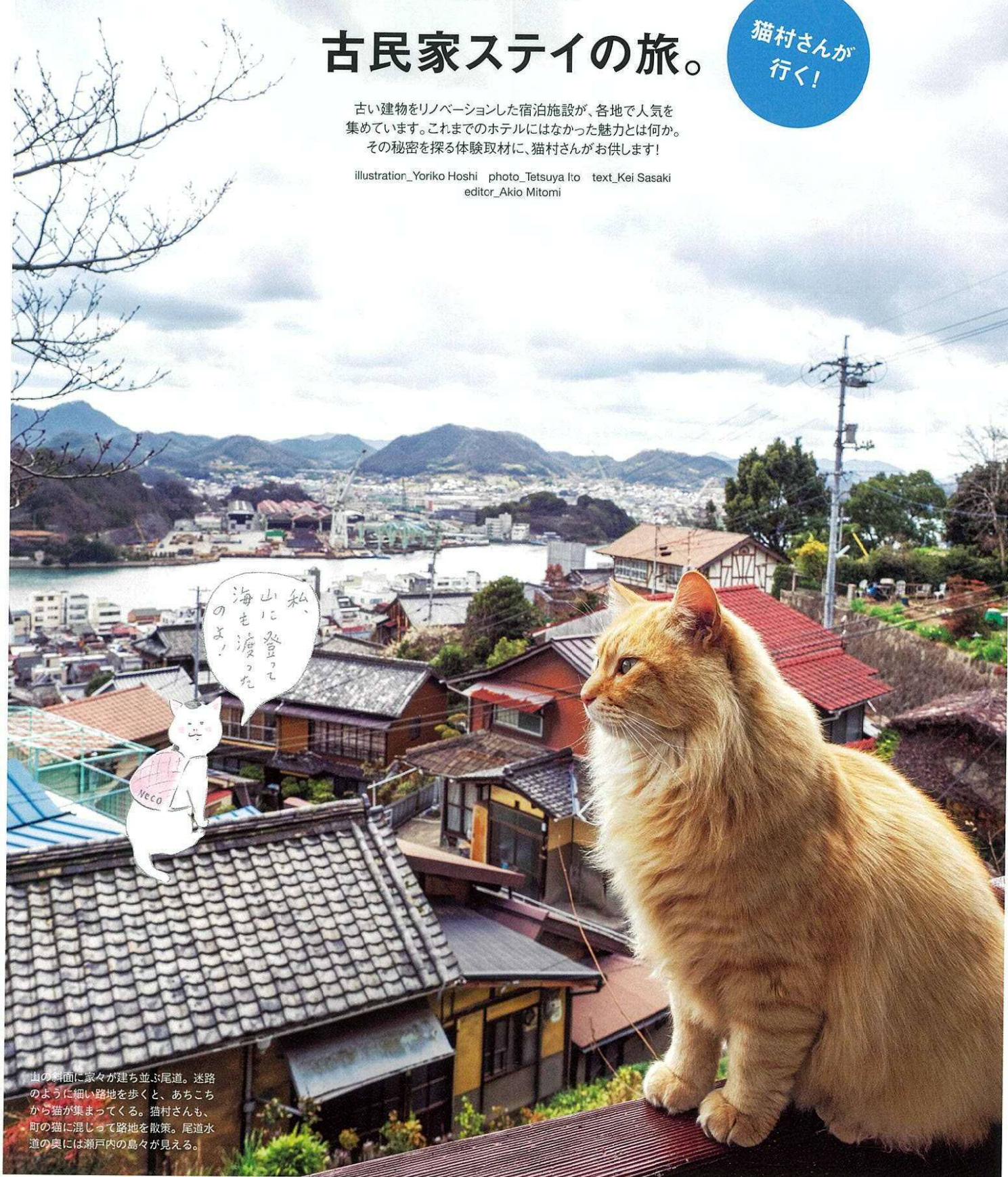
COLUMN

古民家ステイの旅。

猫村さんが
行く!

古い建物をリノベーションした宿泊施設が、各地で人気を集めています。これまでのホテルにはなかった魅力とは何か。
その秘密を探る体験取材に、猫村さんがお供します!

illustration_Yoriko Hoshi photo_Tetsuya Ito text_Kei Sasaki
editor_Akio Mitomi



山の斜面に家々が建ち並ぶ尾道。迷路のように細い路地を歩くと、あちこちから猫が集まってくる。猫村さんも、町の猫に混じって路地を散策。尾道水道の奥には瀬戸内の島々が見える。



猫村ねこ、カーサ編集部で 月イチご奉公中!

ほしよりこ作『きょうの猫村さん』の
スーパー家政婦、猫村ねこはカーサ編
集部で月イチご奉公中。ちょっとおか
しな編集部員の中においても、常にマイ
ペース！ 特製シール付き『カーサの
猫村さん4』大好評発売中。1,250円。

小 テル特集の編集会議で
「今は古民家ステイが
来てるのよ！」と、編
集長。事実、古い民家や建物をリ
ノベーションした宿泊施設が、全
国各地に増え続けている。スタイ
ルは、ホテルから貸し別荘のよう
な宿までさまざま。建物を通じ、
その場所の人となりならぬ“土地
となり”まで染み出るのを感じら
れるのが、滞在の大きな魅力だ。
土地の重要な資源である古い建
物が宿泊施設になり、観光の拠点
として活用されることは、地域活
性の大きな推進力に。宿を中心に、
移住組を含む若い世代が運営する
新しい店や施設が広がりを見せつ
つある町もある。建築は町の要。
さらにデザインが地方再生のキ
ワードとなった現在、この流れは
見逃せない！

話題の宿を取り材するため、出張
に飛び回る編集長のお供で、猫村
さんも尾道、竹田を旅します。

天空の城の城下町

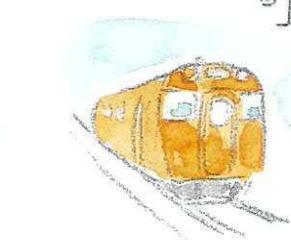
竹田駅

竹田

元は400年の歴史
を持つ酒造場を、



地元の人ガイキイキ、
働いておられます



An illustration of a woman with brown hair and a pink dress, and a white cat with pink ears looking at a speech bubble. The speech bubble contains Japanese text.

駅の近く
支屋敷中央 左
竹田城下町ホテルEN

庫県朝来市で“天空の城”と呼ばれる竹田城跡を存じだろか。
室町時代に基礎が築かれた標高353・7mの古城山山頂にある山城遺構で、虎が伏せているように見えることから虎臥城とも呼ばれた。春は桜、夏は色濃い緑の木々に彩られ、晴れた早晨に霧が発生しやすい秋から冬は、雲海に包まれた姿が幻想的。人呼んで“東洋のマチュピチユ”！近年、知名度も人気も急上昇中だ。

蔵はほかにも工芸品や地産食材を扱うショッピングや地域の情報館として活用され、レストランと併せ宿泊者以外にも開放。スタッフも地元の人気がほとんどゆえ、格式はない。“地元のおもてなし”が心地いい。館内の花は、女性スタッフのひとりが担当。「お金をかけずに工夫するのが楽しい」と、生き生きと話す様子に、やりくり上手のスーパー家政婦・猫村さんも、いたく感動した様子。

宿の周辺では竹田城跡の人気に呼応するかのように、地域住民と

149

竹田 | 兵庫

竹田城 城下町 ホテルEN

Takeda Castle Hotel EN
Takeda, HYOGO

2013年開業。設計は地元の松本一級建築士事務所。客室は全5室（定員2名～5名）。寝具蔵をリノベーションした大浴場がある。2017年4月には隣接する古民家を利用した新客室を増設。●兵庫県朝来市和田山町竹田字上町西側363番地0120・210・289。1室2名利用で1泊2食付き21,000円～。<http://www.takedacastle.jp>



新たな町の交流拠点〈あさごぜる〉。

移住者が中心の同名の市民グループの拠点として、空き家の納屋をリノベーション。夜には地酒を出す日本酒バー〈酒ごぜる〉として営業。●〈あさごぜる〉兵庫県朝来市和田山町竹田字上町西側365番地090-9110-4053。

MUST GO PLACES

地域住民も旅行者も、 共にくつろげるスポット。

地元の住職兼建築家が運営する複合施設〈竹田劇場〉に本格的な紅茶専門店がお目見え。製菓を学んだ女性店主が作るケーキも評判で、これまでなかった洋菓子が楽しめる店は、地域住民にも歓迎されている。市民グループ「あさごぜる」のメンバーには獣師もあり、害獣として駆除した鹿肉を加工・販売する施設も完成。かつて銀山の町として栄え、現在は空き家を再生した町づくりが進む生野町にも、ぜひ足を延ばしてほしい。

竹田城跡を一望できる立雲峡へ。

朝来山中腹にある渓谷で、竹田城跡を円山川越しに望める絶好の場所。駐車場から徒歩約25分の第3展望台からは、気象条件が整えば雲海の竹田城跡が！ ●〈立雲峡〉兵庫県朝来市和田山町竹田079-674-2120（情報館 天空の城）。



〈T's Room〉でティーブレイクを。

神戸の紅茶専門店で働いた経験を持つ地元出身の女性店主が、故郷にUターンして開業。紅茶は約10種を用意。自家製の焼き菓子もぜひ。●〈T's Room〉兵庫県朝来市和田山町栄町19-2 079-674-0076。11時～19時。木曜休。

生野散策はカフェ〈芒種〉から。

旧材木商の建物を改装したショップ併設のカフェ。パスタかご飯がメインのランチ（11時30分～14時）が人気。●〈芒種〉兵庫県朝来市生野町口銀谷600 079-679-2299。11時～18時。火曜・第3月曜休（ほか不定休あり）。



若い移住者たちがタッグを組んだ地域再生の動きが急速に進んでいる。市民グループ「あさごぜる」が、〈竹田城 城下町ホテルEN〉の隣の倉庫を改装して建設中の活動拠点がいよいよ始動。徒歩15分ほどの場所には、空き家を利用して〈竹田劇場〉という複合施設があり、若い店主たちがセンスのいいティーサロンやフラワーショップを経営している。竹田の旅のハイライトだったのは、夜明けの竹田城跡を見下ろす立雲峡登山。一方で若者主導の新しい町の動きに触れて、竹田に親しみを感じた猫村さんでした。